

手術室環境をデザインする

サージカルスモークはどこに消えるのか — 術者や看護師の曝露リスクを可視化 —

サージカルスモークは、外科医のみならず麻酔科医、看護師、臨床工学技士など手術室スタッフへの曝露リスクがあり、さらには患者にも影響を与える可能性があります。医療従事者をサージカルスモーク曝露から守るためには、サージカルマスクを含む一般的な PPE だけでは不十分とされ排煙装置の使用が推奨されています。また、手術室空調システムが影響を与えることもわかってきています。本セミナーでは、術野で発生したサージカルスモークがどこへ消えるのかについて可視化データとともに新たな知見を紹介し、手術室空調システムによる対策についてもご講演いただきます。

参考文献：日本外科教育研究会 <http://www.surgicaleducation.jp/surgicalsmoke.html>

日時

2021年 **12月2日** [木]
12:20~13:20

司会

中村 廣繁 氏

鳥取大学医学部附属病院胸部外科診療科群

演者

渡邊 祐介 氏

北海道大学病院臨床研究開発センター・消化器外科 II

会場

第10会場

神戸国際展示場1号館 2F 展示室 B

共催

セントラルユニ



渡邊 祐介 Yusuke Watanabe

米国消化器内視鏡外科学会 (SAGES: Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons) の公式プログラムである FUSE (Fundamental Use of Surgical Energy) の資格を持つ消化器外科医。2012年から2015年まで McGill 大学 (カナダ、モントリオール) 低侵襲外科教室にて外科教育研究に従事する。研究留学中に Dr. Madani と FUSE ハンズオンコースの開発に携わり、北米、イギリス、さらには国内各所で FUSE コースを開催し、参加者から好評を得る。外科教育研究の普及や FUSE コースを通じて手術医療安全向上に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症を契機に再度注目を集めたサージカルスモークに関する研究に取り組み、手術医療現場の環境対策についても積極的に情報発信している。日本外科教育研究会を立ち上げに関わり、SAGES FUSE 委員会・FLS (Fundamentals of Laparoscopic Surgery) 委員会メンバーとしても活動している。

第34回日本内視鏡外科学会総会

日時 | 2021年12月2日 [木] ~ 4日 [土]

会場 | 神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル

お問い合わせ先

会社名 | 株式会社セントラルユニ / 部署 | 事業開発部
TEL | 080-4405-7243 / 担当者 | 内田 聡